

本校の教育理念、目標及び方針

設立者である社会福祉法人新生会の「他人のいたみを自分のこととして感ずる感性と人が等しく生きてゆくことの福祉観を基本として」の理念を基に、「地域医療・地域福祉の最前線を担う即戦力となる人材を育てる」を本校の理念とし、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、最高の技術と高度な知識、人格を国際レベルで習得し、日本の福祉・医療・保健の分野で有為の人材を育成することを目的としている。

また、教職員全員の情報共有と部署間の連携、業務の「見える化」を意識し、下記のような教育を実現させる。

- ① 現場との連携、現場を十分活用した教育
- ② 一人一人の特性に応じたオーダーメイド教育
- ③ 地域との連携、地域への発信、地域のなかでの教育
- ④ 国際社会を視野に入れた介護・リハビリ教育

2024年度目標

「言葉に出す」をキーワードに、

- ・言葉に出すことで自分の考えを確かなものにする
- ・言葉に出し合うことで新たな価値を創造する
- ・言葉で伝えることで地域社会に貢献する学校を目指す

主な行動目標

- ・本校が果たす社会的役割と意義を自覚し、それを学生に「言葉に出して」伝え学習意欲を喚起するとともに、社会の一員として専門性が発揮できるよう、国家資格取得のための知識・技能の修得と福祉の心の養成のための教育の充実に努める
- ・新生会との連携を深め、教職員が臨床現場で臨床に携わり専門性を高めるとともに、授業の工夫改善に努め、教育内容を充実させる
- ・意思疎通を心がけ「言葉に出し合い」、相手の立場や気持ちを尊重しつつ協働し、一つ一つの課題に誠実かつ堅実に取り組む職場の雰囲気作りに努める
- ・「今日が開校日」の意識をもち、わくわく楽しみながら自ら進んで動く職場であるよう心がけ、常に創意工夫し「言葉に出し合い」、新たな意義と価値を生み出す
- ・地域社会に積極的に働きかけ本校の活動を「言葉で伝える」ことで、医療・福祉の必要性と重要性を啓発し、地域社会に貢献する学校づくりを進める